エイジング社会の教養科目群

科目コード	OG212	科目名	歴史の中の学校教育	科目群	第 1 群
担当者	前田　一男（マエダ　カズオ）				
開講日程・時限	夏期集中9月9日、10日、11日（10:00〜17:00）	授業方式	対面	単位数	2 単位
備　考	履修人数制限（定員 25 名）				
授業の目標	近世日本の教育から敗戦直後までを対象にし、特に戦時期に焦点を当てながら、戦後 80 年を迎える現在の学校が、近代日本の歴史的な展開の上に成り立っていることを理解し、教育を歴史的に考察する見方や考え方を学んでいきたい。				
授業の内容	当たり前のように通っている「学校」が、近代社会のなかで学校がどのように作ら れてきたのか、その役割と機能とは何であったのかを歴史的に跡づけながら、さまざまな教育問題を突きつけられている「教育の現在」を確認していきたい。教育理念と学校制度とを軸にして近代学校教育の展開を跡づけ、とりわけ大正自由教育から戦時下の教育への変遷については、その教育実践の特質を明らかにしつつ、かつ現代への問題意識を持ちながら、受講者とともに考えていきたい。				
授業計画	第 1 日　第 1 回　ガイダンスとこの授業のねらい 第 2 回　近代教育 150 年の通史的理解 第 3 回　近世の教育 －特に手習塾（寺子屋）に注目して－ 第 4 回　明治初年の教育 －近代化への始動－ 第 5 回　国民統合と「知」の配分 －教育勅語の発布－ 第 2 日　第 6 回　国民統合の動揺と再編成 －教育理念の展開－ 第 7 回　学問と教育の関係史（1）－初代文部大臣・森有礼の役割－ 第 8 回　学問と教育の関係史（2）－南北朝正閏問題の意味－ 第 9 回　近代学校の成立とその歴史的性格 第 10 回 近代学校批判の展開（1）－大正自由教育の試み－ 第 3 日　第 11 回 近代学校批判の展開（2）－自由学園を中心に－ 第 12 回 立教大学野球部と戦争への道 第 13 回 総力戦体制と教育 －錬成教育と一人の教師のあゆみ－ 第 14 回 敗戦と教育－戦争孤児の戦後史－ ＊自由学園の明日館に施設見学に行く予定。				
成績評価方法	平常点による評価				
講義中に直接使用する教科書	その都度、授業内容に即したプリントを配布するので、特に指定しない。				
上記教科書以外の参考図書	寺﨑・前田編、1993、『日本の教師 歴史の中の教師Ⅰ・Ⅱ』、ぎょうせい。 片桐・木村編、2017、『教育から見る日本の社会と歴史（第 2 版）』、八千代出版。				
その他（HP 等）	自由学園の明日館への施設見学については、9 月初旬に、事前の案内を Canvas LMS に掲載します。				